

平成31年度埼玉県学力・学習状況調査の結果について

1 結果概況

「内容別の主な結果」の分析

- ・「教科の領域等」の「話すこと・聞くこと・書くこと」、「評価の観点」の「書く能力」、「問題形式」の「記述式」については、県の平均正答率を上回っている。
- ・「教科の領域等」、「評価の観点」、「問題形式」の多くの項目で、県の平均正答率を下回っている。

「今までの学力変化」の分析

- ・学力は県平均と同等のレベルで伸びを見せている。

「学力の伸びの状況」の分析

- ・昨年度は下位層の伸びに課題が見られたが、今年度はいずれの層の児童も学力を伸ばしている。

- 向上した
- 変化なし
- ▼ 低下した

2 内容別の主な結果

同一集団の 成績推移

2 内容別の主な結果

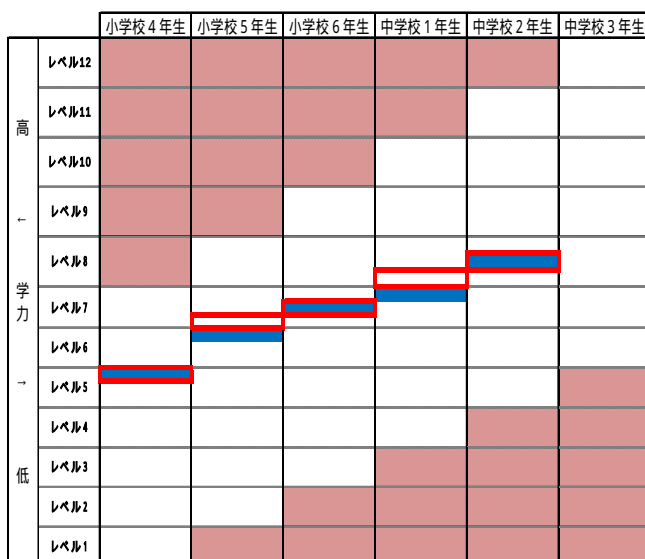
同一集団の成績推移

平成29年度 小学校6年生			平成30年度 中学校1年生			平成31年度 中学校2年生			経年変化			
学力レベル			学力レベル			学力レベル			全体正答率			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	前年度の「県との差」の比較			
7-B	7-B	0	7-A	8-C	1	8-B	8-B	0				
67.3	68.2	-0.9	53.7	55.2	-1.5	58.4	59.3	-0.9	0.6	○		
平均正答率 (%)			平均正答率 (%)			平均正答率 (%)			県との差の比較			
草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	草加市	埼玉県	県との差	経年変化			
話すこと・聞くこと・書くこと	52.9	52.4	0.5	69.5	69.6	-0.1	53.2	53.9	-0.7	-0.6	▼	
読むこと	74.0	74.7	-0.7	48.8	49.8	-1.0	50.6	51.3	-0.7	0.3	○	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	67.2	68.4	-1.2	52.6	54.8	-2.2	63.7	64.8	-1.1	1.1	○	
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	話す・聞く能力	63.9	64.7	-0.8	71.6	75.0	-3.4	58.5	61.0	-2.5	0.9	○
	書く能力	41.9	40.1	1.8	67.5	64.1	3.4	47.9	46.8	1.1	-2.3	▼
	読む能力	74.0	74.7	-0.7	48.8	49.8	-1.0	50.6	51.3	-0.7	0.3	○
	言語についての知識・理解・技能	67.2	68.4	-1.2	52.6	54.8	-2.2	63.7	64.8	-1.1	1.1	○
問題形式	選択式	68.9	69.7	-0.8	53.4	54.8	-1.4	60.3	61.4	-1.1	0.3	○
	短答式	67.0	68.9	-1.9	53.9	56.9	-3.0	56.0	57.0	-1.0	2.0	○
	記述式	37.5	30.9	6.6	59.6	53.0	6.6	41.7	39.0	2.7	-3.9	▼

3 今までの学力の変化

草加市

埼玉県



【グラフの見方】

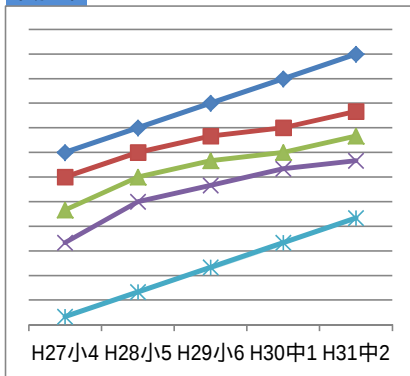
- ・ 基本的な見方は、児童生徒の個人結果票と同様です。
- ・ 青い線は、貴実施主体の当該学年の学力のレベルの平均を表しています。
- ・ 赤い線は、当該学年の学力のレベルの県平均を表しています。

【活用の仕方(例)】

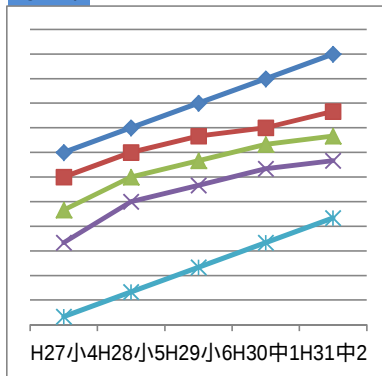
- ① 平成30年度から31年度の「学力の伸び」に着目する。
⇒ 伸び幅が県平均よりも大きい／小さい。
 - ② 平成31年度の学年ごとの学力に着目する。
⇒ 学力が県平均を上回っている／下回っている。
- ※ ①、②のような視点を踏まえ、さらに他の帳票を合わせ見することで、課題となる領域や指導改善の方法などを検討する。

4 学力の伸びの状況

草加市



埼玉県



- 最大値（最も学力が高い児童生徒が属する学力レベル）
- → 75%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて25%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- ▲ → 中央値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて50%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- × → 25%値（学力の高い順に並べたときに、上から数えて75%に当たる児童生徒が属する学力レベル）
- ★ → 最小値（最も学力が低い児童生徒が属する学力レベル）

・指導が必要な項目

【言語についての知識・理解・技能】 短答式 平均正答率 草加市 41.6 埼玉県 46.3 差 -4.7 無解答率 15.2

問題の概要 漢字を書く（音＋音）

出題の趣旨 文脈に即して漢字を正しく書く

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市 64.3 埼玉県 68.9 差 -4.6 無解答率 0.1

問題の概要 同音異義語の中から文脈に合うものを選択する

出題の趣旨 文脈に即して漢字を正しく使う

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市 14.9 埼玉県 16.9 差 -2.0 無解答率 0.1

問題の概要 一文の文節の数として適切なものを選択する

出題の趣旨 言葉の単位を理解する

【言語についての知識・理解・技能】 選択式 平均正答率 草加市 17.0 埼玉県 17.2 差 -0.2 無解答率 0.6

問題の概要 主語・述語の関係となっているものを選択する

出題の趣旨 主語・述語の関係を理解する

「言語についての知識・理解・技能」に関する指導について

分析

- ・漢字・同音異義語などの構成・意味を理解することについて、県の平均正答率を下回り、差が大きい。
- ・言葉の単位や主語・述語の関係等については、選択式で無回答率が低い。しかし、平均正答率が低く、県の平均正答率も下回っている。

指導のポイント

- ・小学校で学習した内容も含め、基本的な文法事項を正確に身に付け、読解力を向上させる。
- ・国語辞典等を利用し、日常的に正しい日本語を経験的・継続的に学習して活用させる。
- ・読書等の活動を通して、ことばに親しむ態度を育て、国語に対する認識を深めさせる。
- ・小学校で学習した内容や、日常生活を通して経験的・継続的に学習したことを合わせ、それらの個別的な知識を整理して体系付け、言葉のきまりとして改めて理解させる必要がある。読書等の活動を通して、漢字に親しむ態度を育て、国語に対する認識を深めさせることが重要である。